

演習
2

地域を理解する

地域・在宅看護では、人々ができるだけ健康的に暮らせるように、また健康障害があっても地域で暮らしつづけられるように支援する。そのためには地域の理解が不可欠だ。まずは自分の暮らす地域を知ろう。

● 学習目標

- ① 自分の住む地域の特性を理解する。
- ② 学校の所在する地域に目を向けて、地域の特性を理解する。
- ③ 健康障害が生じて、安心して地域で暮らしつづけるための課題を考える。

● 学習の進め方

ワークシート1 ▶ 自分の暮らす地域、学校の所在する地域を理解しよう。

- ① 事前課題として **ワーク1** に自分の住む地域の特性とそう考えた理由・根拠(写真やイラストでもよい)を記載し、その地域を他者に紹介できるようにする。
- ② 数人のグループで **ワーク1** をもとに、それぞれ自分の住む地域について発表する。
- ③ **ワーク2** で、②の発表を聞いて、「暮らしと健康」を支援する目的で地域を知るにはどのようなデータが必要かを、グループで考える。
- ④ **ワーク3** で、③の成果をもとに、グループで、学校の所在する地域に住む人々の健康と暮らしを支援するために必要な地域のデータをあげて、具体的にデータ収集の方法や担当を決める。次回の授業までに、実際にデータを収集する。

ワークシート2 ▶ 健康障害をもっている人も安心して暮らせる地域にしていくために、地域の実情を知り、課題を考えよう。

- 上記④で収集したデータをもとに、次のグループワークを行う。
- ① **ワーク1** で、収集したデータのなかから地域の社会資源(徒歩で30分程度の範囲)を地域資源マップにする。
 - ② **ワーク2** で、収集したデータのなかで、**ワーク1** に記述しきれなかった地域の特性を整理する。
 - ③ **ワーク3** で、**ワーク1** と **ワーク2** をもとに地域で健康的に暮らすための課題を考える。
 - ④ **ワーク1** から **ワーク3** をもとに **ワーク4** に取り組み、「健康障害をもつ人が地域で暮らしつづけるための課題」を明確にする。
 - ⑤ ④の成果を中心にクラスで発表し、その後、意見交換やまとめを行う。

右のQRコードより、ワークシートをダウンロードしていただけます。



ワークシート2 健康障害をもっても安心して暮らせる地域にしていくために、地域の実情を知り、課題を考えよう。

ワーク1 ワークシート1を経て情報収集したデータのなかから、まず、健康障害をもっても地域で暮らしつづけるために必要な社会資源などを地域資源マップにしてみよう。

ワーク2 情報収集したデータのなかで、**ワーク1**に記述しきれなかった地域の特性を示すデータを整理しておこう。

ワーク3 **ワーク1**と**ワーク2**をもとに、地域で健康的に暮らすための課題を整理してみよう。

ワーク4 健康障害をもつ人が地域で暮らしつづけるための課題を考えよう。